

災害対応からみた清掃職場の課題

1. 千葉県の台風災害から考える

2019年9月と10月に発生した台風15号、台風19号及びその後の低気圧による大雨が、日本全国に大きな被害をもたらした。被害状況は、全国で住宅の損壊被害9万件余、浸水被害4万3千件余、死傷者・行方不明者736名（内閣府発表資料による（注1））。この内千葉県では、住宅被害だけで6万1千件超、一部壊でも屋根が飛ばされるなどの深刻な被害となっている。特に鋸南町では、住宅被災世帯率が68.4%と、千葉県内でも極めて被害が大きかった。

千葉県住宅被害状況（被災世帯率上位）

全壊	半壊	一部壊	床上浸水	床下浸水	計	住宅被災世帯率	市町村名
16	334	2,144	7	9	2,510	68.4%	鋸南町
0	6	1,493	0	0	1,499	25.4%	多古町
45	392	1,971	1	0	2,409	14.0%	南房総市
4	12	1,786	0	0	1,802	12.4%	匝瑳市
1	9	1,161	0	0	1,171	12.1%	横芝光町
30	182	1,922	0	0	2,134	10.7%	富津市

埼玉県本部現業評議会では、千葉県へのボランティア派遣にとりくむとともに、現業評議会に、鋸南町及び南房総市のゴミとし尿収集・処理を実施している鋸南地区環境衛生組合の清掃労働者を招き、災害時における清掃職場の実態を聞いた。

（注1）千葉県の台風15号被害については10月10日現在のデータ（住宅被害35533件）であり、その後の千葉県が発表した11月14日時点の被害状況では住宅被害についてその件数（61749件）は約1.6倍になっている。

鋸南町での実態から

① 何が起きたか

- ・9月9日（月）夜から翌日未明にかけて台風15号通過。3,668世帯数のうち、2,494件での住宅被害。
- ・クリーンセンター自体が被災。重機やチェーンソーを使い復旧に2日要した。
- ・停電のため焼却炉が稼働しなかったが、可燃ごみの収集を水曜日に開始し、ピットの扉が開かないためプラットホームにブルーシートを敷き集積した。
- ・日曜日に停電復旧、月曜日から焼却炉稼働。
- ・可燃ごみの量は、通常の4～5倍。処理が間に合わず、市原市クリーンセンターが受け入れ協力。
- ・2か月連続勤務で対応。

② 課題と今後の対応

- ・台風接近への準備・対応ができておらず、衛生組合内、南房総市及び鋸南町での情報共有ができていなかった。また、ごみの仮置き場の設置が遅く少なかった。⇒災害発生前後のマニュアル策定と熟知及び情報の共有が必要。
- ・現場職員の意見を無視して、市・町の意向で収集・焼却・処理が行われていた。⇒現場の状況に合った対応が必要。
- ・2か月連続勤務と時間外労働⇒職員の健康管理、水や食料の確保が改善課題。
- ・クリーンセンターの復旧が即座に対応できたのも、重機などが活用できるスキルをもった直営職員がいたから。ごみ収集・焼却が休まず進められるのも直営職員がいたから。

技術の継承と直営職員の必要性を訴えていく。

③ 全体の奉仕者として

日頃から「全体の奉仕者」「住民のためにいい仕事を」と言っているが、今一つ理解が進まなかったが、今回の災害対応で、いっきに意識が変わったと思う。組合の対応や県本部の迅速な支援で労働組合への見方が変わったのではないか。

2. 埼玉での災害対応の現状

埼玉県内の市町村では、一般ごみの収集について、その割合は異なるが、全ての市町村に委託が導入されている。また、焼却施設でも委託化が進み、自治体直接任用の清掃労働者（以下「直営職員」）数は減少している。

災害対応については、各市町村で地域防災計画及び災害廃棄物処理計画を策定し、形の上では対応計画ができ、「通行道路の確保」「焼却施設の復旧」「仮置き場の確保運営」「収集体制の確立」「長期に連続する業務への対応」など、対応すべきことの記述はあるが、誰がどう配置され実施するのかが明確になっていない。ただし、多くの自治体で、民間業者との間で「災害廃棄物等の処理の協力に関する協定」を結んでおり、協力要請を行うことになっている。果たして、大規模な災害の場合に、ある市町村との協定を優先して実行してもらえる保障はあるのだろうか。役所内の関係部署と連携をとらなければならないが、民間業者が対応できるのだろうか。さらに、高齢者や障がい者など災害弱者に対する個別の対応については、保障されるのだろうか。様々な疑問が残る。

直営職員で対応するとしても、自治体によっては対応できる体制にないことは明らか。人口20万人程度の県北のA市では、清掃労働者約60名いるが、同規模の県南のB市では、約20名しかいない。対応能力の差は歴然としている。

3. 埼玉の清掃職場の委託状況

(1) 収集

総務省「平成30年4月1日現在における地方行政サービス改革の取組現状」によれば、一般ごみ収集では、県内全ての自治体に委託が導入されている。しかし、その割合は自治体により異なる。(例えば、川口市では40%、所沢市でも約40%が直営で残っていますが、上尾市ではほぼ100%民間委託です。)

(2) 施設（焼却施設・最終処分施設）の運転管理体制

一般廃棄物処理事業の概要（埼玉県環境部資源循環推進課作成）によれば、10年間で以下のとおり委託化が進んでいる。

■施設の運転管理体制の委託状況（埼玉県作成「一般廃棄物処理事業の概要」より作成）

	2008年(H20) 4月1日現在		2018年(H30) 4月1日現在	
焼却施設	直営	6 (11.5%)	直営	1 (2%)
	一部委託	5 (9.6%)	一部委託	8 (16%)
	委託	41 (78.8%)	委託	41 (82%)
	計	52	計	50
最終処分場	直営	7 (24.1%)	直営	2 (9.1%)
	一部委託	6 (20.7%)	一部委託	8 (36.4%)
	委託	16 (55.2%)	委託	12 (54.5%)
	計	29	計	22

4. 住民の安心・安全を守る清掃事業の担い手のありかた

(1) 熊谷での竜巻被害対応に見る直営職員の大切さ（2013年2月熊谷市職レポートから抜粋）

実は、埼玉でも2013年（H25）に熊谷市を中心に竜巻災害が発生しており、その時の熊谷市の対応を振り返ってみる。

9月16日（祝日）未明市内4か所で竜巻被害発生。被害家屋数は、住家787件、非住家334件、計1,121件。早朝、職場責任者と組合で対応を協議。収集車全部を使って、午前中に通常の収集を終わらせ、午後から被害の大きかった地域に一次集積所を確保し、災害ごみの収集を実施。また、個人宅で災害ごみ撤去の支援をし、収集車で運び込んだ。2週間以上連続勤務し、建設部維持課とも協力し、がれき撤去作業を実施した。

その後、翌年1月一杯まで第二次集積所で個人及び業者の災害ごみの受け入れをし、全職員が協力し、空き時間に搬入されたごみの片づけを実施。

また、年2回実施しているリサイクルフェアの秋の部を中止し、被災者にリサイクル品を無償で提供した。

異常気象で災害が多い中、いち早く動ける直営職員が絶対に必要である。

(2) 清掃事業に求められるもの

憲法第25条第2項では「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」としており、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第1条（目的）では「この法律は、廃棄物の排出を抑制し、及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。」と規定している。

清掃事業は、単にごみを収集し処理するだけではなく、分別や再生なども含めて生活環境を清潔にし、公衆衛生の向上を図ることで、憲法25条の実現をする仕事である。災害時

だけではなく日常からそういった姿勢での事業実施が求められる。

この姿勢からは、高齢者などの家へ訪問するいわゆる福祉収集も当然のこととして実施が求められる。また、「再生」という意味では、前述の熊谷市でのリサイクルフェアも同様である。

そして、さらに広く地球環境のことも考えて、住民がごみにどう向き合うべきかの啓発活動も重要な役割として加えられる。実際に、さいたま市では環境教育として「ごみスクール」を実施しており、清掃労働者が先生になり、小学校や保育園でリサイクルなどについて話をしている。同様なとりくみは、熊谷市でもエコスクールとして行われている。

(3) 住民の安心・安全を守る清掃事業の担い手

災害対応のことを考えれば、自治体内の地理を熟知し、高齢者や障がい者の居宅が分かり、役所内での連携がしっかりと図れる、知識と経験を持った職員が必要である。それは直営職員しかありえない。のみならず、憲法25条の実現としての廃棄物の処理及び清掃に関する法律に位置付けられた事業の実施責任は、国及び自治体にある。

しかも、住民への啓発も含めた長期的な清掃事業の実施を誰が考え実行するのか。現場を一番よく知っている清掃労働者ではないか。それは、委託では対応できない。繰り返しになるが、自治体直接任用の清掃労働者は、ごみの収集・処理をするだけでなく、防災、防犯、福祉、教育にも関われる自治体の貴重な行政資産である。

私たちは、住民の安心・安全を守る清掃事業を実現するために、清掃事業の在り方、直営職員の重要性を行政、住民及び議会に理解を広め、政府の進める委託の推進に対抗し、むしろ直営へ戻すことを提案する必要がある。

そのためにも、現業評の組織と運動の前進と自治研活動の推進が不可欠である。